BAR Pro3

取扱説明書

本書の「安全にお使いいただくために 必ずお守りください」（P.2）を必ずお読みになり、正しく設置・操作を行ってください。

PN J613-M7426-00 Rev.D

導入ガイド

本製品を使ってインターネットに接続するために必要な作業と、マニュアルの参照箇所を説明しています。このガイドに沿って作業を進めてください。

本製品の添付品は、すべて揃っていますか?

参照 **PART1の「添付品の内容を確認しよう」(P.8)**

NO

万一不足するものがございましたら、お手数ですが、ご購入元までご連絡ください。

YES

プロバイダーや回線業者との契約、工事は完了していますか?

NO

インターネット接続サービスへの加入と回線工事を完了させてください。詳しくは、ご契約のプロバイダー、回線業者にお問い合わせください。

YES

モデムやケーブルは揃っていますか?

NO

ご契約のプロバイダーが指定するモデムとLANケーブルをご用意ください。
詳しくは、ご契約のプロバイダーにお問い合せください。

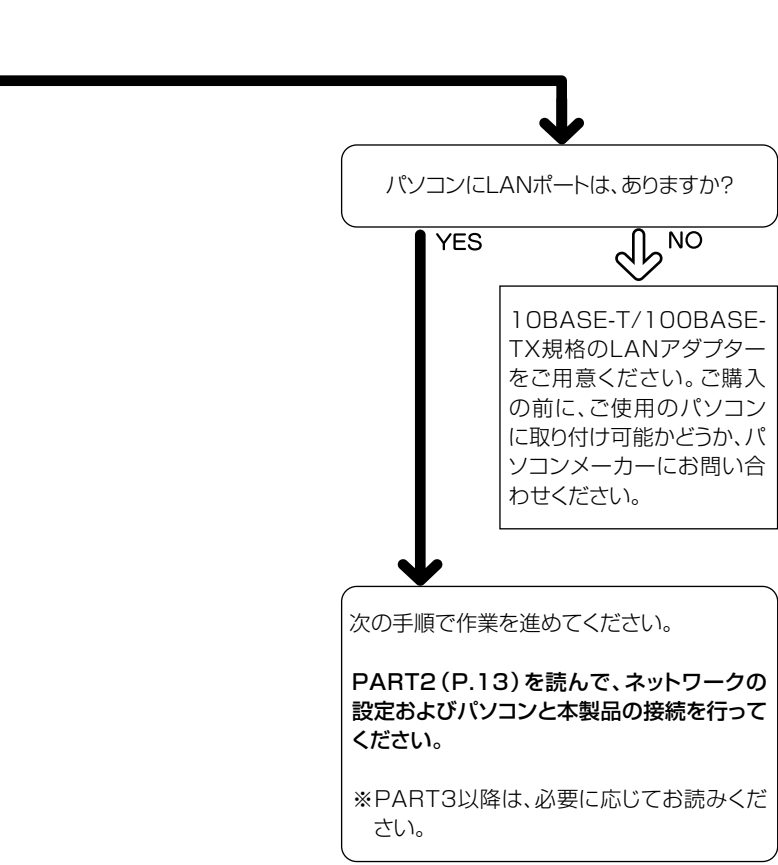
YES

プロバイダーから提供された設定情報(ユーザー名、パスワード、IPアドレスなど)が記載された書類は、ありますか?

NO

本製品の設定を行う際に必要です。不明な場合はご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

YES

本製品や、本製品とネットワーク接続する機器(パソコン、モデムなど)のコネクタ等の位置は確認しましたか?

PART1の「各部の名称と機能を覚えよう」(P.11)

NO

取り付けの際は、本書の他にも本製品にネットワーク接続する機器の取扱説明書もご用意ください。

YES

パソコンにLANポートは、ありますか?

YES

NO

10BASE-T/100BASE-TX規格のLANアダプターをご用意ください。ご購入の前に、ご使用のパソコンに取り付け可能かどうか、パソコンメーカーにお問い合わせください。

次の手順で作業を進めてください。

PART2(P.13)を読んで、ネットワークの設定およびパソコンと本製品の接続を行ってください。

※PART3以降は、必要に応じてお読みください。

安全にお使いいただくために　必ずお守りください

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。

	感電の可能性が想定されることを示します。		発煙または発火の可能性が想定されることを示します。
	けがを負う可能性が想定されることを示します。		

障害や事故の発生を防止するための、その他の注意事項は次のマークで表しています。

	電源プラグを抜く 電源ケーブルのプラグを抜くように指示するものです。

⚠警告

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
火災や感電、けがの原因となります。内部の点検・調整・清掃・修理は、弊社サポートセンターにご依頼ください。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。

異物は入れない　水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。（弊社サポートセンターまたは販売店にご連絡ください。）

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。

交流 100V の電源でお使いください

異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

添付の専用 AC アダプター以外で使用しない

火災や感電の原因となります。必ず、添付の専用 AC アダプターを使用してください。

専用 AC アダプターのコードを傷つけない

火災や感電の原因となります。

電源コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度５～90%以下の環境でご使用ください）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

本製品は、一般使用を目的とした商品です

本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器､及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や設計、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤作動防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

本製品の使用は、日本国内で

本製品は日本国内仕様となっておりますので､本製品を日本国外で使用された場合､弊社ではいかなる責任も負いかねます。

取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)。

はじめに

このたびは、「corega BAR Pro3」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくご利用していただくための手引きです。必要なときにいつでも参照していただけるように、大切に保管してください。

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

●記号について

注意	操作中に気を付けていただきたい内容です。必ずお読みください。
メモ	補足事項や、参考となる情報を説明しています。

●表記について

本製品	corega BAR Pro3を指します。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。

●イラスト、画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

●正式名称について

本書で使用しているソフトウェア名の正式名称は以下のとおりです。

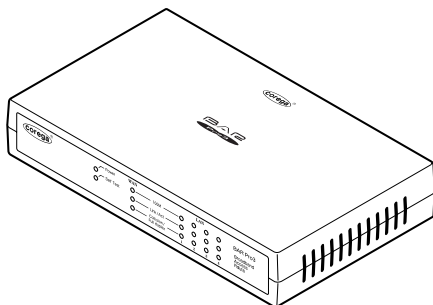
・Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
・Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Professional operating systemの略です。
・Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
・Windows NT4.0は、Microsoft® Windows® NT workstation operating systemの略です。
・Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
・Windows® 98SEは、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemの略です。
・Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
・Windows® 95は、Microsoft® Windows® 95 operating systemの略です。
・本書では、Windows® 98とWindows® 98SEを含めて、Windows 98と表記しています。

目次

PART4　設定ユーティリティーを見てみよう 45

付録 65

添付品の内容を確認しよう

本製品のパッケージには、以下のものが同梱されています（下記以外に添付紙が同梱されている場合があります）。お買い上げ商品についてご確認いただき、万が一不足するものがございましたら、お手数ですが、ご購入元までご連絡ください。

□ corega BAR Pro3 本体

□専用 AC アダプター

□はじめにお読みください

□クイック設定ガイド

□ LAN ケーブル

製品保証書（1 年保証）

この製品保証書は、株式会社コレガが定める製品保証規定（裏面）に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

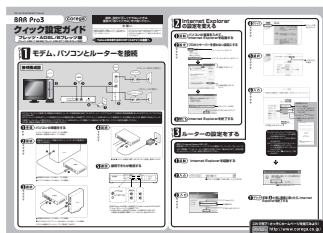
製品名　BAR Pro3

シリアル番号（S/N）

ご購入日

製品保証に関するお問い合わせ先
corega サポートセンター
TEL：045-476-6268　FAX：045-476-6294
住所：〒222-0033 横浜市港北区新横浜 1-19-20
受け付け時間：10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00
月～金（祝・祭日を除く）

販売店様印

※本保証書にお買い上げ販売店の記名及び押印がない場合は、有償扱いとなりますので予めご了承ください。
※製品名、シリアル番号、ご購入日をご記入ください。

□製品保証書

ご使用の環境を確認しよう

本製品を接続する前に、以下の項目を確認し、☑のようにチェックを付けてください。

会社などで専用線を利用する場合は、ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な機器の準備、設定を行ってください。

チェック1

□ プロバイダーとの契約、工事は完了していますか？

本製品を使ってインターネットに接続するには、フレッツ･ADSL、B フレッツなどの回線を使ったインターネット接続サービスへの加入が必要です。また、プロバイダーによる工事が完了するまでは、インターネットへの接続はできません。

チェック2

□ モデムやケーブルはそろっていますか？

回線と接続するには、回線の種類に応じたモデムなどが必要になります。また、回線への接続が正しくできているか、確認してください。確認方法については、ご契約のプロバイダーにお問い合せください。

本製品とパソコンまたは本製品とモデムを接続するには、LAN ケーブルが必要になります。LAN ケーブルを購入される場合は、カテゴリー５の LAN ケーブル（Unshielded Twisted Pair Cable ＝シールドなしツイストペアケーブル）のものをご購入ください。

チェック3

□ 設定に必要な情報は準備できていますか？

本製品の設定を行う際に、各サービス別に以下の情報が必要です。プロバイダーとの契約時に、以下のような情報が提供されますので契約書類などで確認し、メモしておいてください。不明な場合はご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

PPPoE 接続の場合（フレッツ･ADSL など）	DHCP を利用する場合	固定 IP アドレスで接続する場合（固定 IP サービス）
･ユーザー名 ･パスワード ･サービス名（プロバイダーから指定された場合のみ） ･DNS サーバーの IP アドレス（プロバイダーから指定された場合のみ）	･コンピューター名（プロバイダーから指定された場合のみ） ･DNS サーバーの IP アドレス（プロバイダーから指定された場合のみ）	･WAN 側の IP アドレス ･サブネットマスク ･ゲートウェイアドレス ･DNS サーバーの IP アドレス

上記の名称は、プロバイダーによって異なる場合があります。
例：ユーザー名→アカウント、ユーザー ID、ログイン ID など
ご不明な点は、ご契約のプロバイダーに確認してください。

パソコンの環境はそろっていますか？

本製品とパソコンを接続するには、パソコン側に以下の環境が必要です。

LAN コネクター （10BASE-T/ 100BASE- TX ポート）	LANコネクターがない場合は、ご利用のパソコンに合わせて次のいずれかの方法で、LANコネクターを増設してください。増設方法については、パソコン、または LAN ボード、LAN カード、LAN アダプターの取扱説明書を参照してください。 ・ 拡張スロット（PCI バスまたは ISA バス）に LAN ボードを取り付ける ・ PC カードスロットに LAN カードを取り付ける ・ USB コネクターに LAN アダプターを取り付ける
OS	本製品は、Windows 95/98/Me/2000/NT 4.0/XP、Mac OS、UNIX、Linux など、TCP/IP をサポートする OS に対応しています。
Web ブラウザー	本製品の設定は、Web ブラウザー（フレームに対応しているもの）で行います。パソコンに次のいずれかの Web ブラウザーがインストールされているか、確認してください。 ・Microsoft Internet Explorer 5.5 以降 **推奨ブラウザー** OS ／ 推奨ブラウザー Windows XP ／ Microsoft Internet Explorer 6.0 SP1 以降 Windows 2000 ／ Microsoft Internet Explorer 6.0 SP1 以降 Windows Me ／ Microsoft Internet Explorer 5.5 Windows 98 ／ Microsoft Internet Explorer 5.5

推奨ブラウザー

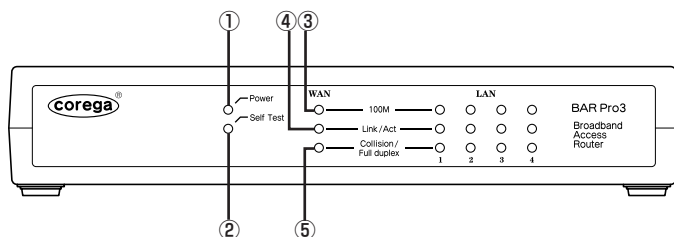
O S	推奨ブラウザー
Windows XP	Microsoft Internet Explorer 6.0 SP1 以降
Windows 2000	Microsoft Internet Explorer 6.0 SP1 以降
Windows Me	Microsoft Internet Explorer 5.5
Windows 98	Microsoft Internet Explorer 5.5

本製品の特長をとらえよう

本製品には、次のような機能があります。

・DHCP 対応のブロードバンドルーター
・全ポート 100BASE-TX/10BASE-T 対応
・全ポート AUTO MDI/MDI-X 対応
・クイック設定で簡単インターネット接続
・3 つのルーティング方式（スタティック、RIP、ダイナミック）に対応
・アクセス制限が可能
・ダイレクト PPPoE 対応
・ダイナミック DNS(DDNS）対応
・PPPoE マルチセッションに対応
・UPnP 対応
・NetMeeting、Windows Messenger、MSN Messenger に対応

各部の名称と機能を覚えよう

■本体前面

① Power LED （緑）

本製品の電源が入っているときに、緑色に点灯します。

② Self Test LED （橙）

システム初期化時のセルフテストの状況が表示されます。
点灯：セルフテストの結果、異常がありました。
点滅：セルフテスト中です。
消灯：本製品は正常に動作しています。

③ 100M LED（緑）

本体背面の WAN ポートまたは LAN ポートの動作速度が表示されます。
点灯：100Mbps で接続が確立されています。
消灯：10Mbps で接続が確立されしています。

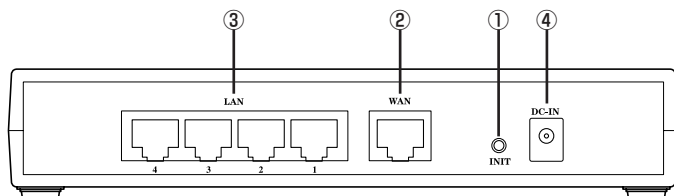
④ Link/Act LED（緑）

本体背面の WAN ポートまたは LAN ポートの状態が表示されます。
点灯：ケーブルが正常に接続されています。
点滅：データ通信中です。
消灯：ケーブルが接続されていません。

⑤ Collision/Full duplex（緑）

本体背面の WAN ポートまたは LAN ポートの状態が表示されます。
点灯：Full duplex で通信しています。
点滅：コリジョン（データの衝突）が発生しています。
消灯：Half duplex で通信しています。

- **ケーブルが接続されている状態とは**
  ケーブルが正しく接続され相手通信機器と LINK が正しくとれている状態のことです。
- **ケーブルが接続されていない状態とは**
  ケーブルが接続されていない、または、相手通信機器と LINK が正しくとれていない状態のことです。

■本体背面

① INIT スイッチ

本製品の再起動、または設定内容を工場出荷時の状態に戻す場合に使用します。操作方法については、「本製品を再起動したい」(P.41)、または「本製品を工場出荷時の状態に戻したい」(P.42)を参照してください。「INITスイッチを使用して工場出荷時の状態に戻す」と設定内容が失われますので操作方法をよくお読みになって使用してください。

② WAN ポート

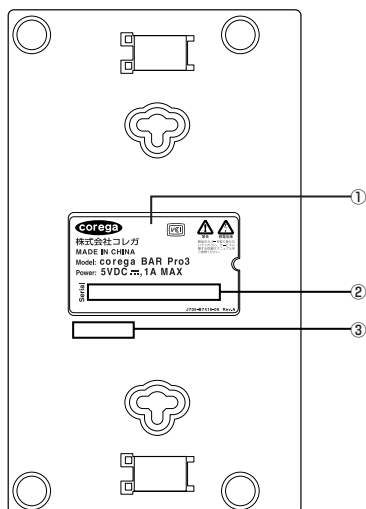
本製品とモデムまたは既存のネットワークを接続するためのポート（RJ- 45）です。

③ LAN ポート

本製品とパソコンやハブを接続するためのポートです。１～４までの４つのポートがあります。100Mbps/10Mbpsの切り替えは、オートネゴシエーション機能によって自動的に行われます。

④ DC ジャック

添付の専用 AC アダプターを接続するためのコネクターです。

■本体裏面

①警告ラベル

本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されておりますので、必ずお読みください。

②シリアル番号ラベル

本製品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、弊社サポートセンターへの問い合わせの際に必要となります。

③ MAC アドレスラベル

本製品のWAN側ポートのMACアドレスが記載されています。

ネットワークに接続しよう

接続の準備をしよう

本書冒頭の「安全にお使いいただくために 必ずお守りください」をお読みになり、使用時の注意についてご確認ください。本製品の側面にある通気口は、放熱のため塞がないでください。

■本製品を設置する場所について

●設置に適した場所

・水平で落下の恐れがない場所（机の上など）
・風通しのよい涼しい場所

●設置に適さない場所

・直射日光が当たる場所
・暖房器具の近くなど
・高温多湿でホコリの多い場所
・パソコンやモデム、ディスプレイなど、発熱する機器の上

パソコンのネットワーク設定をしよう

本製品を利用してインターネット接続ができるように、ご使用になるパソコンのネットワーク設定を行います。
次の内容を確認してください（確認と設定の方法は、OSの種類など、ご使用になるパソコンの環境により異なります）。

・ネットワークアダプタの設定
・TCP/IPの設定

・複数のパソコンをインターネットに接続させる場合、すべてのパソコンでネットワーク設定を行う必要があります。
・本製品と無線接続する場合は、作業を始める前に、お使いになるパソコンに無線LANアダプターを取り付けて、ドライバーや設定に必要なソフトウェア（ユーティリティーなど）のインストールを済ませておいてください。取り付け、設定方法については、お使いのパソコンや無線LANアダプターの取扱説明書を参照してください。

■ Windows XPで利用しよう

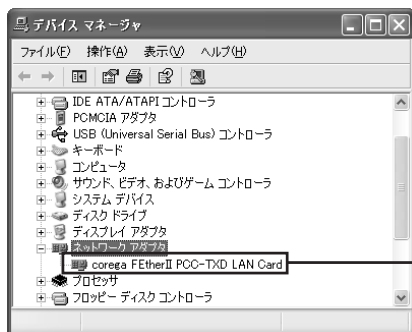
この作業は「コンピュータの管理者」または同等の権限をもつユーザー名でログオンして行ってください。ユーザー権限については、OSの取扱説明書を参照してください。

●ネットワークアダプタの状態を確認する

パソコンに取り付けられたネットワークアダプタが正常に動作しているか、デバイスマネージャなどで確かめます。

1　「スタート」－「マイコンピュータ」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。

2　「ハードウェア」タブを表示して「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

3　「デバイスマネージャ」画面の「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。

4　ネットワークアダプタの名称が表示されていることを確認します。

×や！マークが表示されている場合、ネットワークアダプタは正常に動作していません。ネットワークアダプタの取扱説明書をお読みになり、正常な状態にしてください。

● TCP/IP プロトコルを確認する

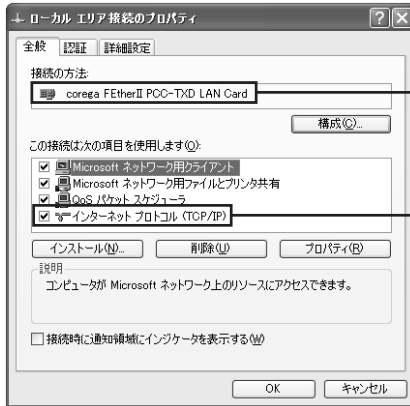
1　「スタート」－「コントロールパネル」をクリックします。

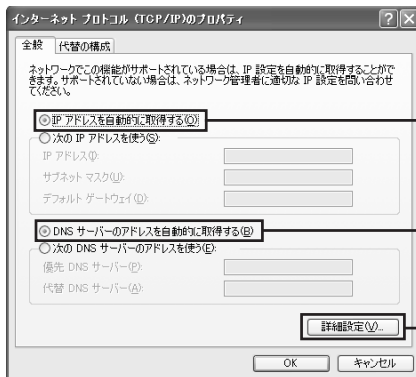
2　「コントロールパネル」にある「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

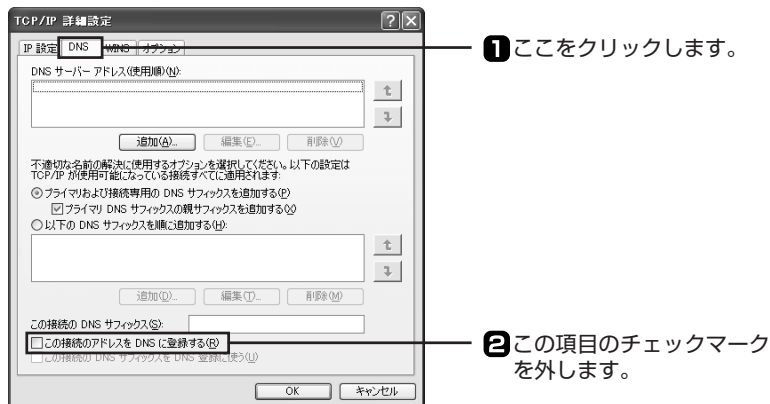
「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックしてください。

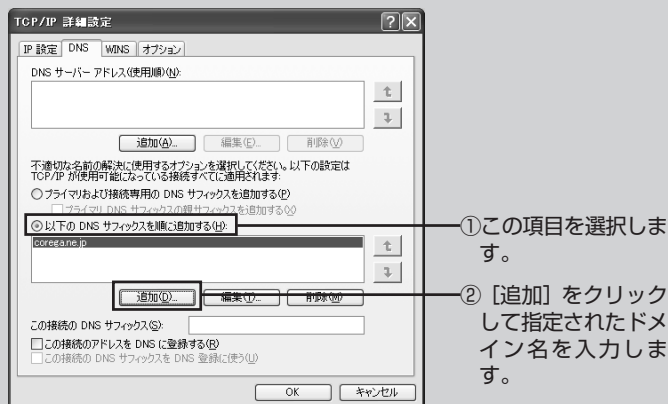
3　「ネットワーク接続」アイコンをクリックします。

4　「ローカルエリア接続」を右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。

5 「全般」タブで「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が有効になっているか確認します。

6 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

7 「全般」タブにある「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

8 「TCP/IP詳細設定」画面で「DNS」タブをクリックし、「この接続のアドレスをDNSに登録する」のチェックを外します。

注意

プロバイダーからドメイン名も指定されている場合

「以下のDNSサフィックスを順に追加する」を選択し、［追加］をクリックして指定されたドメイン名を入力してください。

※DNS設定例

9 「OK」ボタンをクリックします。

10 「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面で、「OK」ボタンをクリックします。

11 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で、「閉じる」ボタンをクリックします。

12 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動します。

メモ

メッセージが表示されなかった場合も、手動で再起動してください。

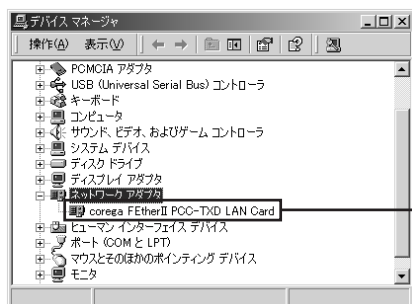
13 次に「Webブラウザーの設定をしよう」(P.26)に進みます。

■Windows 2000で利用しよう

この作業は、「Administrator」または同等の権限を持つユーザー名でログインして行ってください。ユーザー権限については、OSの取扱説明書を参照してください。

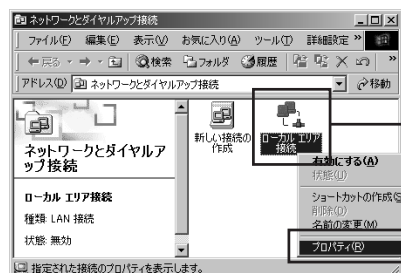
●ネットワークアダプタの状態を確認する

パソコンに取り付けられたネットワークアダプタが正常に動作しているか、デバイスマネージャなどで確かめます。

1 デスクトップにある「マイコンピュータ」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。
2 「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。
3 一覧の「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。
4 ネットワークアダプタの名称が表示されていることを確かめます。

×や！マークが表示されている場合、ネットワークアダプタは正常に動作していません。ネットワークアダプタのマニュアルをお読みになり、正常な状態にしてください。

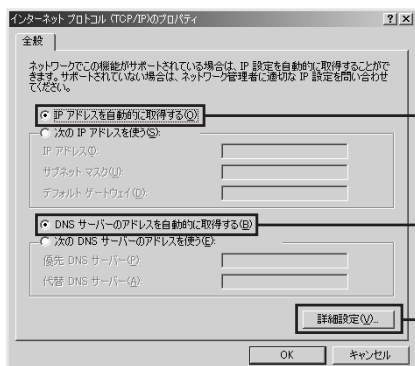
デバイスマネージャに表示されるネットワークアダプタの名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。

●TCP/IPプロトコルを確認する

1 「スタート」－「設定」－「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックします。
2 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。

※「ローカルエリア接続」の名称はご使用のパソコンの環境により異なる場合があります

3 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が有効になっていることを確認します。

・デバイスマネージャに表示されるネットワークアダプタの名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。
・「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が一覧にない場合は、「TCP/IP をインストールする」(P.20)を参照してください。

4 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

5 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

6 「TCP/IP 詳細設定」画面で「DNS」タブを選択し、「この接続のアドレスをDNS に登録する」のチェックを外します。

7 「OK」ボタンをクリックします。

8 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で「OK」ボタンをクリックします。

9 再起動を促すメッセージが表示された場合は再起動します。

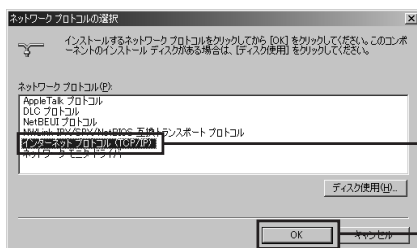
10 次に「Webブラウザーの設定をしよう」(P.26)に進みます。

● TCP/IP をインストールする

TCP/IP がインストールされていなかった場合は、次の手順でインストールしてください。

1 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で「インストール」ボタンをクリックします。

2 「ネットワークコンポーネントの種類の選択」画面が表示されたら「プロトコル」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。

3 「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されたら「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

4 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が有効になっていることを確認します。

インストールが完了したら、「TCP/IP プロトコルを確認する」(P.17)の手順を行ってください。

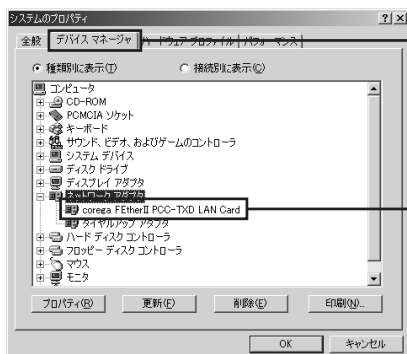
■Windows Me/98/95で利用しよう

●ネットワークアダプタの状態を確認する

パソコンに取り付けられたネットワークアダプタが正常に動作しているか、デバイスマネージャなどで確かめます。

1 デスクトップにある「マイコンピュータ」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、表示されたハードウェアデバイスの一覧から「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。

3 ネットワークアダプタの名称が表示されていることを確認します。

- ×や！マークが表示されている場合、ネットワークアダプタは正常に動作していません。ネットワークアダプタのマニュアルをお読みになり、正常な状態にしてください。
- 「Microsoft仮想プライベートネットワークアダプタ」「ダイヤルアップアダプタ」などのアダプタ名が表示されていることがありますが、これらは本製品で使用するネットワークアダプタと関係ありません。

●TCP/IPプロトコルを確認する

ここでは例としてWindows Meを使用しています。Windows 98/95をご使用の場合も手順は同様です。

1 「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」をクリックします。

Windows Meの場合、よく使うコントロールパネルのオプションだけが表示されているときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックすると、「ネットワーク」アイコンが表示されます。

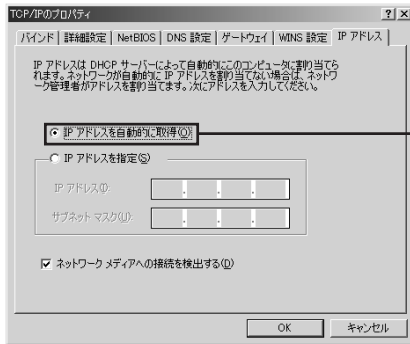
2 「コントロールパネル」にある「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

3 「ネットワークの設定」タブ内で「現在のネットワークコンポーネント」の欄に「TCP/IP －> XXXXX（ネットワークアダプタ名）」が表示されていることを確認します。

・「TCP/IP －＞XXXXX（ネットワークアダプタ名）」が表示されていなかった場合は、「TCP/IP をインストールする」（P.24）を参照してください。
・「TCP/IP－＞」の横に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。
・ダイヤルアップアダプタがない場合は「インターネットプロトコル（TCP/IP）」、「TCP/IP」などと表示される場合もあります。

4 「現在のネットワークコンポーネント」の一覧から「TCP/IP －>XXXXX（ネットワークアダプタ名）」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

「TCP/IP －＞XXXXX（ネットワークアダプタ名）」が複数表示されている場合は、ご使用になるネットワークアダプタの方を選択します。

5 「IPアドレス」タブで「IPアドレスを自動的に取得」を選択します。

注意

プロバイダーからドメイン名も指定されている場合
「DNS 設定」タブで「DNS を使う」を選択し、「ドメインサフィックスの検索順」の欄に指定されたドメイン名を入力して［追加］をクリックしてください。

※ DNS 設定例

6 「OK」ボタンをクリックします。

7 「ネットワーク」画面の、「OK」ボタンをクリックします。

Windows の OS 用ディスクを入れるようにダイアログが表示された場合はドライブに Windows の OS 用ディスクを挿入し、メッセージにしたがって操作します。再起動を促すメッセージが表示されたら再起動します。

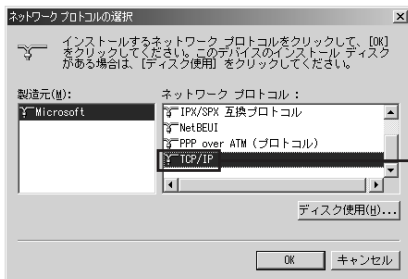
8 次に「Webブラウザーの設定をしよう」(P.26)に進みます。

● TCP/IP をインストールする

TCP/IP がインストールされていなかった場合は、次の手順でインストールしてください。

1 「ネットワーク」の画面で、「追加」ボタンをクリックします。

2 「ネットワークコンポーネントの種類の選択」画面で「プロトコル」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。

3 「ネットワークプロトコルの選択」画面の「製造元」で「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」の一覧から「TCP/IP」を選択します。

4 「OK」ボタンをクリックします。

5 「現在のネットワークコンポーネント」の一覧に「TCP/IP ー>XXXXX(ネットワークアダプタ名)」が追加されていることを確かめます。

・「TCP/IPー>」の横に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。

・ダイヤルアップアダプタがない場合は「インターネットプロトコル(TCP/IP)」、「TCP/IP」などと表示される場合もあります。

6 「OK」ボタンをクリックして「ネットワーク」画面を閉じると、再起動を促すメッセージが表示されますので、再起動します。

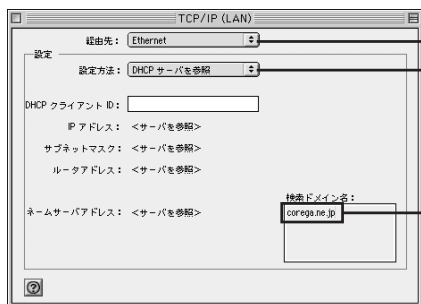
メッセージが表示されなかった場合も、手動で再起動してください。

インストールが完了したら、「TCP/IP プロトコルを確認する」(P.21)の手順を行ってください。

■Mac OSで利用しよう

●Mac OS 8.x ～ 9.xの場合

1 コントロールパネルにある「TCP/IP」を開きます。

2 「経由先」で「(内蔵)Ethernet」を、「設定方法」で「DHCPサーバを参照」を選択します。

3 画面を閉じます。

4 次に「Webブラウザーの設定をしよう」(P.26)に進みます。

●Mac OS X v1.02の場合

1 「アップルメニュー」－「システム環境設定」を選択します。

2 「システム環境設定」画面で「ネットワーク」をクリックします。

3 「ネットワーク」の「表示」で「(内蔵)Ethernet」を、「TCP/IP」タブの「設定」で「DHCPサーバを参照」を選択します。

4 「今すぐ適用」ボタンをクリックします。

5 次に「Webブラウザーの設定をしよう」(本ページ)に進みます。

Web ブラウザーの設定をしよう

本製品を設定できるように、Webブラウザーの設定を行います。ここでは、Internet Explorerの場合の設定方法を例に説明しています。その他のWebブラウザーの場合は、Webブラウザーのヘルプなどを参照してください。

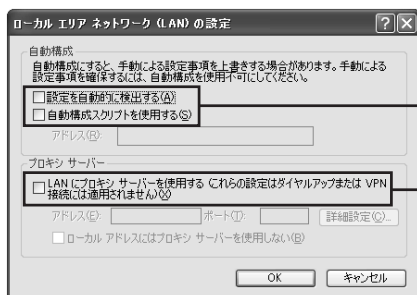
■ Windows の場合

ここでは、Internet Explorer 6.0 の場合の設定方法を説明しています。

1 Internet Explorerを起動し、「ツール」−「インターネットオプション」をクリックします。

2 「インターネットオプション」画面が表示されたら「接続」タブをクリックします。

3 「LANの設定」ボタンをクリックします。

4 「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」画面で「設定を自動的に検出する」「自動構成スクリプトを使用する」「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックマークを外します。

5 「OK」ボタンをクリックします。

6 「インターネット オプション」画面で「OK」ボタンをクリックします。

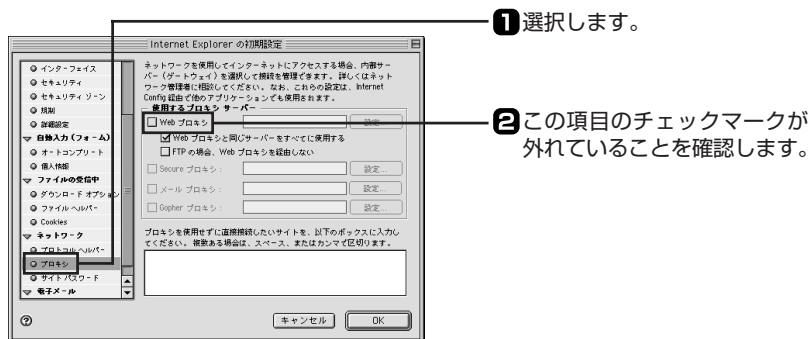
7 次に「パソコンと本製品を接続しよう」(P.28)に進みます。

■Macintoshの場合

ここでは、Internet Explorer 5.0の場合の設定方法を説明しています。

1 Internet Explorerを起動し、「編集」−「初期設定」をクリックします。

2 「初期設定」画面の左にある設定項目から「ネットワーク」を選択し、「プロキシ」をクリックします。

3 「使用するプロキシサーバー」の設定項目内にある「Webプロキシ」のチェックマークが外れていることを確認します。チェックマークが付いている場合は、外します。

4 「OK」ボタンをクリックします。

5 次に「パソコンと本製品を接続しよう」(P.28)に進みます。

■本製品の電源を入れるには

●本製品の電源の取り方

本製品の電源は、たこ足配線などを避け、他の機器と別系統で取るようにしてください。必ず付属の専用ACアダプターを使用し、AC100Vの電源コンセントに接続してください。それ以外のACアダプターやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。

●本製品の電源の入れ方／切り方

本製品背面のDCジャックにACアダプターのDCプラグを接続し、ACプラグを電源コンセントに差し込むと電源が入ります。ACアダプターのACプラグを電源コンセントから抜くと電源が切れます。

・本製品には電源スイッチがありません。ACプラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。

・ACアダプターのACプラグを電源コンセントに差し込んだままDCプラグを抜かないでください。感電事故を引き起こす恐れがあります。

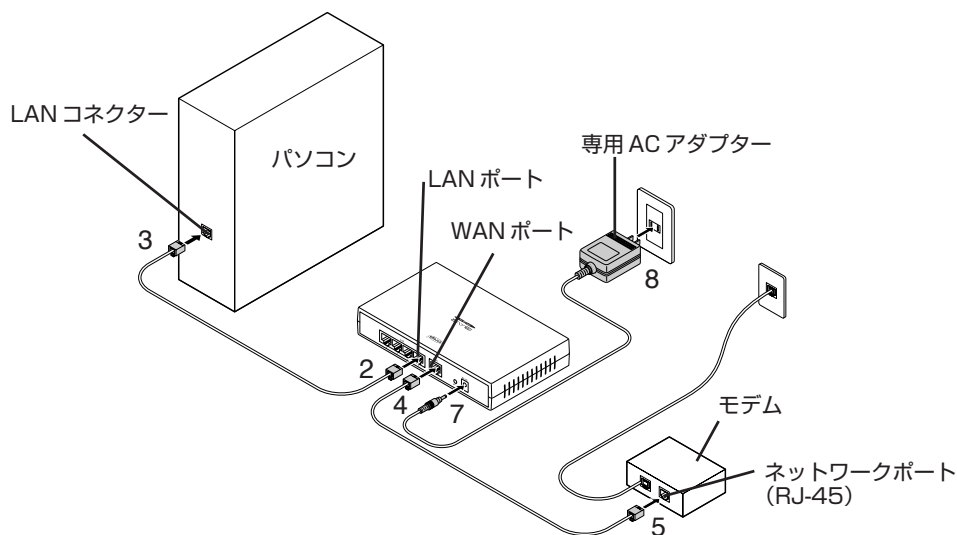
パソコンと本製品を接続しよう

■パソコンとモデムを本製品に接続する

モデムやパソコンなど、本製品とネットワーク接続する機器をLANケーブルで接続してください。

●推奨ケーブルについて

すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることを確認します。本製品とパソコンを接続するLANケーブルの長さは100m以内にしてください。また、ケーブルは、カテゴリー5以上のLANケーブルを使用してください。

1. 本製品とネットワーク接続するモデム、パソコンなどの機器の電源をすべて切るか、電源コンセントから抜いてください。
2. 本製品背面のLANポートにLANケーブルを接続します。
3. LANケーブルのもう一方をパソコンのLANコネクターに接続します。
4. 本製品背面のWANポートに添付のLANケーブルを接続します。
5. モデムまたは回線終端装置などのネットワークポート(RJ-45)にLANケーブルのもう一方を接続します。
6. モデムまたは回線終端装置などの電源を入れます。
7. 本製品背面のDCジャックに付属の専用ACアダプターを接続します。
8. 付属の専用ACアダプターをコンセントに接続し、本製品の電源を入れます。
9. パソコンの電源を入れます。
10. 本製品前面のケーブルを接続したポートのLink/Act LEDが点灯していることを確認します。

本製品の設定をしよう

パソコンから本製品を使ってインターネットに接続できるように本製品の設定を行います。本製品の設定はWebブラウザーで行います。本製品に接続されているパソコンのうち、1台から設定作業を行ってください。WebブラウザーにはInternet Explorer 5.5 以降をご利用ください。これ以外のWebブラウザーでは、正常にセットアップが行えない場合があります。推奨ブラウザーについては、P.10 を参照してください。

使用の接続タイプがIP自動取得(DHCP)の場合は「簡単設定」で設定をする必要はありません。「インターネットに接続してみよう」（P.33）へお進みください。

■簡単に接続しよう

インターネットに接続できるように最小限の設定をします。インターネットへの接続方式はご契約されたプロバイダーによって異なります。P.9 のチェック3でメモした情報を準備してください。

設定用パソコンでウイルス駆除ソフト、ファイアーウォールソフトなどのセキュリティーソフトが稼働していると、本製品の設定に失敗することがあります。一時的にセキュリティーソフトを停止させて本製品の設定を行い、設定作業が終了してから再度稼働させてください。セキュリティーソフトの停止、稼働の方法は、セキュリティーソフトの取扱説明書を参照してください。

1 本製品に接続したパソコンで、Internet ExplorerなどのWebブラウザーを起動します。

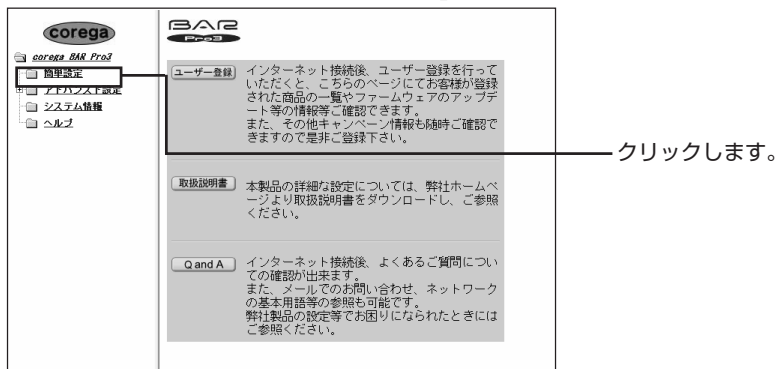
2 Webブラウザーのアドレス入力欄に「192.168.1.1」と入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。

3 ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、ユーザー名の欄に「root」と入力し、[OK]をクリックします。

※上の画面はWindows XPのものですが、他のOSでも手順は同じです。

- **工場出荷時の状態では、ユーザー名は「root」に設定されています。パスワードは設定されていません。**
- **ユーザー名、パスワードは変更できます。（P.40）**

4　設定ユーティリティが起動します。

5　設定ユーティリティの左側にある「簡単設定」をクリックします。

6　「次へ」をクリックすると接続タイプの選択画面が表示されます。ご使用の接続タイプを選択してください。

● **IP 自動取得(DHCP)**

プロバイダーや接続先のネットワーク（ルーター）からIPアドレスが特に指定されていない場合に選択します。DHCP 機能を利用して、IP アドレスが自動的に割り当てられています。

● **IP 固定設定**

プロバイダーや接続先のネットワーク（ルーター）から固定IPアドレスを取得している場合に選択します。

● **PPPoE(FLET’S シリーズ)**

PPPoE と呼ばれる接続手段を使ってインターネットに接続する場合に選択します。プロバイダーよりユーザー名とパスワードが割り当てられます。本製品ではプロバイダーの情報を設定ユーティリティーに登録すると、「フレッツ接続ツール」などを使用せずに自動的にインターネットに接続できます。

7　接続タイプに応じて「簡単接続」の各項目を設定します。次の接続タイプごとの説明を参考に、設定を行ってください。

＜「IP 自動取得（DHCP)」の場合＞

「IP 自動取得（DHCP)」を設定した場合は、「簡単設定」で設定する項目はありません。「インターネットに接続してみよう」（P.33）に進んでください。

＜「IP 固定」の場合＞

この画面は、下の表の入力例を使用した場合の例です。実際にはご使用の環境に合った値を設定してください。

1 「簡単設定」の画面で「IP固定」をクリックします。

項目名	入力例	説　明
① WAN 側 IP アドレス	12.34.56.78	プロバイダーから指定されたIPアドレスを入力します。
②サブネットマスク	255.255.255.0	プロバイダーから指定されたサブネットマスクを入力します。
③ゲートウェイ	12.34.56.1	プロバイダーから指定されたゲートウェイの IP アドレスを入力します。
④ DNS サーバー 1	12.34.56.98	プライマリー DNS サーバーの指定がある場合は、プライマリーDNSサーバーの値を入力してください。

セカンダリーDNSサーバーの値が必要な場合は接続テスト終了後「WAN側の設定」(P.51)で設定してください。

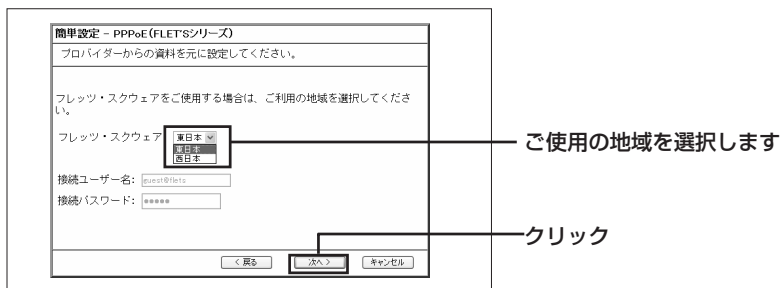
2 [次へ]をクリックし、「接続テストをする」(P.37)に進みます。

＜「PPPoE(FLET’S シリーズ)」の場合＞

この画面は、下の表の入力例を使用した場合の例です。実際にはご使用の環境に合った値を設定してください。

1 「簡単設定」の画面で「PPPoE」をクリックします。

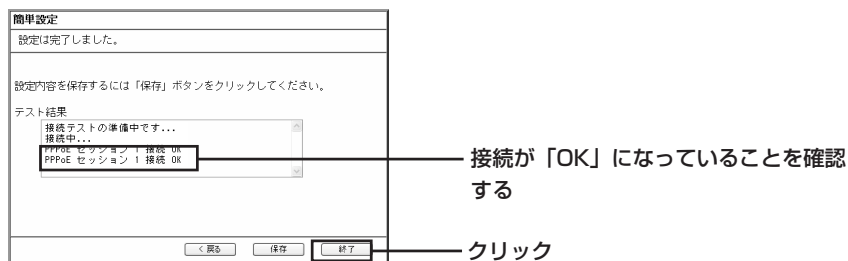
項目名	入力例	説　明
①ユーザー名	myname@isp.ne.jp	プロバイダーより指定された接続ユーザー名を入力します。
②パスワード	Password02	プロバイダーより指定された接続パスワードを入力します。画面上では「●」または、「＊」で表示されます。

2　フレッツ･スクエアの画面が表示されますので、ご使用の地域を選択します。

3　[次へ]をクリックし、「接続テストをする」(本ページ)に進みます。

■接続テストをする

1　次の画面が表示されたら、[保存]をクリックします。

2　次のダイアログボックスが表示されたら[OK]をクリックします。

3　しばらくするとテスト結果が表示されるので、確認して[終了]をクリックします。
パソコン、モデムと本製品の設定、接続に問題がなければテストの結果の欄に「接続OK」と表示されます。

インターネットに接続してみよう

パソコンと設定ユーティリティーの設定が終わったら、インターネットに接続できるか確認します。

1　本製品に接続したパソコンで、Internet ExplorerなどのWebブラウザーを起動します。

2　Webブラウザーのアドレス入力欄にコレガのホームページアドレス「http://www.corega.co.jp/」を入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。

3　ホームページが表示されます。

ご契約のプロバイダーによっては、設定後、インターネットに接続できるようになるまでに、時間がかかる場合があります。詳しくは、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

もし、インターネットにつながらなかった場合は、「PART3 トラブルや疑問があったら」（P.34）をご覧ください。

2台目以降のパソコンを接続しよう

本製品に接続したいパソコンが他にもある場合は、次の箇所を参照してパソコンの設定と接続を行ってください。

①パソコンと本製品を接続しよう（P.28）手順2、手順3、手順9、手順10
②パソコンのネットワーク設定をしよう（P.13）

トラブルや疑問があったら

本製品を使っていて「困ったな」「うまく動かない…」と思ったとき、疑問があったときは、このPARTで解決方法を探してください。

解決のステップ

①マニュアルや契約書を確認する。管理者に確認する

それでも解決しなかったら…

②このPARTのQ&Aを確認する

<トラブルは？>

インターネットに接続できない

①プロバイダーとの契約や回線工事は完了していますか？
②電源は入っていますか？
③モデム⇔インターネット側への回線は正しく接続されていますか？
④ケーブル（モデム⇔本製品⇔パソコン）は正しく接続されていますか？
⑤パソコンのネットワークアダプターは正しく動作していますか？
⑥パソコンのネットワーク設定は正しく設定しましたか？
⑦Webブラウザーの設定は正しいですか？

パソコン同士がつながらない

・ファイルやプリンタが利用できるようにネットワーク設定をしましたか？

本製品の設定ユーティリティーが起動しない

・パソコンのネットワーク設定は正しくできていますか？
・プロキシサーバーを使う設定になっていませんか？

本製品の設定ユーティリティーにログインできない

・別のパソコンがログインしていませんか？
・パスワードを忘れた

<疑問は？>

パソコンのIPアドレスを調べたい
本製品のパスワードを変更したい
本製品を再起動したい
本製品の設定を工場出荷時の状態に戻したい

それでも解決しなかったら…

③コレガのホームページの情報（よくあるお問い合わせ）を活用する

それでも解決しなかったら…

④それでも解決しなければ、サポート窓口に問い合わせてみる

詳しくは、取扱説明書裏表紙の「製品に関するご質問は…」をご覧ください。

取扱説明書や契約書を再確認する。管理者に確認する

本書以外にもプロバイダー契約時の設定取扱説明書、モデムの取扱説明書、パソコンに添付の取扱説明書をお手元にご用意ください。ネットワークにつながらない原因は複雑なため、本製品の設定が正しくても、他の設定が間違っていたり、外部の装置の問題で正しくつながらないこともあります。下記の「インターネットに接続できない」の項目をすべて確認してもつながらない場合は、プロバイダー、回線業者、パソコンのメーカーなどに問い合わせてみてください。なお、企業でお使いの方はネットワークの設定がオフィスによって決められていることがあります。接続できない場合はネットワーク管理部門や部内のネットワーク管理者などに確認してください。

Q&A

■インターネットに接続できない

以下の項目については、順番に確認し☑のようにチェックを付けてください。

①プロバイダーとの契約や回線工事は完了していますか？

□業者による工事は完了したか

②電源は入っていますか？

各接続機器の電源ランプがついているか、またはACアダプターなどが外れていないかを確認してください。

□モデムの電源が入っているか（AC アダプターが外れていないか）

□本製品に電源が入っているか（専用 AC アダプターが外れていないか）

③モデム⇔インターネット側への回線は正しく接続されていますか？

モデムまたはメディアコンバーターからケーブル（電話回線用モジュラーケーブル、同軸ケーブル、光ケーブル）が外れていないかを確認してください。詳しい接続については、モデムやメディアコンバーターに添付の取扱説明書をお読みください。

④ケーブル（モデム⇔本製品⇔パソコン）は正しく接続されていますか？

□本製品とモデムは LAN ケーブルで正しく接続されているか

本製品とモデムが正常に接続されているとWAN LEDが点灯します。点灯していない場合は、ケーブルを差し直すなどしてみてください。

□本製品とパソコンは LAN ケーブルで正しく接続されているか

パソコンと本製品が正常に接続されている場合は、パソコンに電源が入っていると本製品の前面にある各LANポートのLink/Act LEDが点灯します。パソコンにネットワークアダプター（LAN ボード、LAN カードなど）がきちんと挿入されているか、LAN ポートに正しくケーブルが接続されているかも再度確認しましょう。

⑤パソコンのネットワークアダプターは正しく動作していますか？

□パソコンのネットワークアダプターのドライバの設定は正しいか
「PART2 ネットワークに接続しよう」「パソコンのネットワーク設定をしよう」（P.13）を参照してパソコンのネットワークアダプターが正常に動作していることを再度確認してください。

⑥パソコンのネットワーク設定は正しく設定しましたか？

□パソコンの TCP/IP が正しく設定されているか
「PART2 ネットワークに接続しよう」「パソコンのネットワーク設定をしよう」（P.13）を参照してパソコンの TCP/IP が正しく設定されていることを再度確認してください。
□割り当てられた固定 IP アドレスなどが設定されていますか？
プロバイダから複数の固定IPアドレスを割り当てられている場合は、下記の手順でそれぞれのパソコンのネットワーク設定を行ってください。

・Windows XP の場合

1　P.15の手順7の「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」画面で「次のIPアドレスを使う」を選択し、「IPアドレス」、「サブネット マスク」、「デフォルト ゲートウェイ」の入力欄に割り当てられた値を入力してください。

・Windows 2000 の場合

1　P.18の手順5の「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」画面で「次のIPアドレスを使う」を選択し、「IPアドレス」、「サブネット マスク」、「デフォルト ゲートウェイ」の入力欄に割り当てられた値を入力してください。

・Windows Me/98/95 の場合

1　P.23の手順5の「TCP/IPのプロパティ」画面で「IPアドレスを指定」を選択し、「IPアドレス」、「サブネット マスク」の入力欄に割り当てられた値を入力してください。

2　「ゲートウェイ」タブをクリックし、「新しいゲートウェイ」の入力欄に割り当てられた値を入力して「追加」ボタンをクリックしてください。

・Mac OS 8.x ～ 9.x の場合

1　P.25の「Mac OS 8.x～9.xの場合」の手順2の「TCP/IP（LAN）」画面で、「経由先」を「内蔵）Ethernet」に、「設定方法」を「手入力」に設定して「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ルータアドレス」の入力欄に割り当て　られた値を入力してください。

・Mac OS X v1.02 の場合

1　P.25の「Mac OS X v1.02の場合」の手順3の「ネットワーク」画面で、「表示」を「内蔵Ethernet」に、「TCP/IP」タブの「設定」を「手入力」に設定して「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ルータ」の入力欄に割り当てられた値を入力してください。

⑦ Web ブラウザーの設定は正しいですか？

□ Web ブラウザーの設定項目は正しいか

Web ブラウザーの設定についてはプロバイダーから提供された設定情報に関する書類やパソコンに添付の取扱説明書、OS のヘルプなどを参照してください。

Windows98/95をお使いで、初めてインターネットに接続した場合、インターネット接続ウィザードが表示されます。その場合、次の手順で設定してください。

1 「スタート」ボタンー「プログラム」ー「通信」ー「インターネット接続ウィザード」をクリックします。

2 「インターネット接続を手動で設定するか、ローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。

3 「ローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。

4 「プロキシーサーバーの自動検出」のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。

5 「インターネットメールアカウントの設定」画面で「いいえ」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。

6 「完了」ボタンをクリックします。

パソコンをダイヤルアップ環境で利用されていた方は、お使いのOSによってはWebブラウザーの設定を変更する必要があります。プロバイダー契約時の設定マニュアル、パソコンに添付のマニュアルや OS のヘルプなどを参照してください。

■パソコン同士がつながらない

●ファイルやプリンタが利用できるようにネットワーク設定をしましたか？

□パソコンのネットワーク共有サービスの設定を行う

本製品のLANポートに接続されたパソコン同士がデータのやり取りをするには、共有ネットワークの設定が必要です。複数台のパソコンでデータのやり取りをする場合、Windows ではMicrosoftネットワーク共有サービスを使ったワークグループ接続（ピアツーピア接続）が一般的です。設定方法については、各 OS のヘルプを参照してください。

■本製品の設定ユーティリティーが起動しない

●パソコンのネットワーク設定は正しくできていますか？

□パソコンのTCP/IPが正しく設定されているか

「PART2 ネットワークに接続しよう」「パソコンのネットワーク設定をしよう」（P.13）を参照して、パソコンのTCP/IPが正しく設定されているか再度確認してください。

●プロキシサーバーを使う設定になっていませんか？

□ Webブラウザーのプロキシサーバーの設定は正しいか

「PART2 ネットワークに接続しよう」「Webブラウザーの設定をしよう」（P.26）を参照して、Webブラウザーでプロキシサーバーを使用しない設定にしてください。

■本製品の設定ユーティリティーにログインできない

●別のパソコンがログインしていませんか？

別のパソコンがログインしていないか確認してください。別のパソコンがログアウトしたら、もう一度ログインしなおしてください。

●パスワードを忘れた

本製品を工場出荷時の状態に戻してください。パスワードがクリアされます。本製品を工場出荷時の状態に戻す方法は、このPARTの「本製品を工場出荷時の状態に戻したい」（P.42）を参照してください。パスワードを設定したい場合は、このPARTの「本製品のユーザー名、パスワードを変更したい」（P.40）を参照して、再設定してください。

本製品を工場出荷時（初期値）の状態に戻すと、パスワードだけでなく、今まで設定していた情報がすべて消えてしまいます。再度設定しなおしてください。

■パソコンのIPアドレスを調べたい

本製品よりパソコンに割り当てられたIPアドレスを調べる場合は、次の方法で行ってください。Windows以外のOSについては、OSのヘルプやマニュアルを参照してください。

＜Windows XP/2000の場合＞

1 「スタート」ボタン－「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」をクリックします。

2 キーボードから「ipconfig」と入力して、「Enter」キーを押します。

パソコンのIPアドレスが表示されます。

上の画面は例です。「C:¥Documents and Settings¥corega」の部分は、パソコンの使用環境によって表示が異なります。

3 IPアドレスを確認します。

正しく表示されない場合は、「ipconfig　/renew」と入力して、「Enter」キーを押します。

半角スペースを入力します。

＜Windows Me/98/95の場合＞

1 「スタート」ボタン－「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

2 「名前」の欄に「winipcfg」と入力して、「OK」ボタンをクリックします。

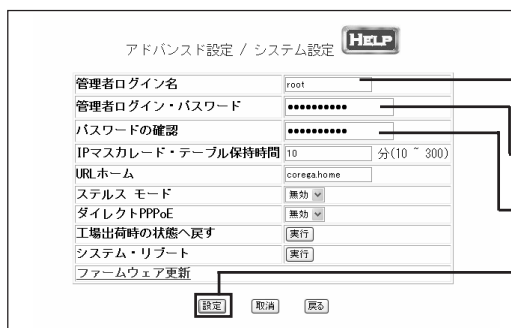
3　パソコンで使用しているネットワークアダプターを選択します。

パソコンのIPアドレスが表示されます。

正しく表示されない場合は、「解放」ボタンをクリックした後、「すべて書き換え」ボタンをクリックしてください。

■本製品のユーザー名、パスワードを変更したい

本製品のユーザー名、パスワードは、次の手順で変更できます。

1　設定ユーティリティーを起動し、「アドバンスド設定」－「システム設定」ボタンをクリックします。
設定ユーティリティーの開きかたは、「本製品を設定しよう」「簡単に接続しよう」(P.29)をご覧ください。

・工場出荷時の状態では、パスワードは設定されていません。
・入力したパスワードは、画面上では「●」または「＊」で表示されます。入力ミスのないように注意してください。また、「”」および「"」以降に入力した文字は、保存されません。

2　「システム・リブート」の「実行」をクリックします。

3　ネットワークパスワード入力画面が表示されるので、ユーザー名と新しいパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックします。

ログイン名およびパスワードで空白を設定すると、認証を行わずに設定ユーティリティーにアクセスすることができます。

■本製品を再起動したい

本製品のシステムを再起動します。設定を変更した場合には、再起動して設定内容を反映させてください。「工場出荷時の状態に戻したい」とは異なりますのでご注意ください。
再起動には、次の２つの方法があります。

● INIT スイッチを使って再起動する

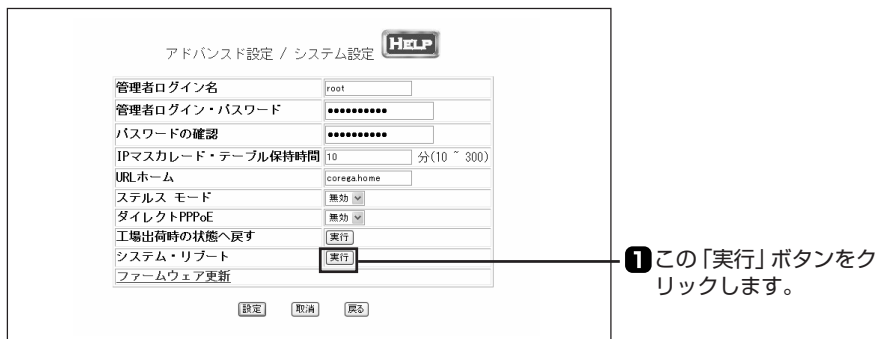
1 本製品の電源が入っている状態で、ゼムクリップなど堅くて先の細いものを使用し、本製品背面にあるINITスイッチを押し、すぐ離します。

2 Power LED以外のLEDが消灯します。

Link/Act LED が点灯すれば、再起動の完了です。

●設定ユーティリティーを使って再起動する

1 設定ユーティリティーを起動し、「アドバンスド設定」－「システム設定」ボタンをクリックします。

2 「システムリブート」の 「実行」ボタンをクリックし、「更新」ボタンをクリックします。

「『システムリブート』を実行しますか？」と表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
本製品が再起動し、P.47 の設定ユーティリティーの Home 画面が表示されます。

■本製品を工場出荷時の状態に戻したい

本製品を工場出荷時（初期値）の状態に戻すと今まで設定していた情報がすべて初期値になります。重要な設定をしている場合は、設定内容を書き残すなど、後で再設定できるようにしておいてください。

工場出荷時の状態に戻すには、次の２つの方法があります。２つの方法に違いはありません。どちらを使ってもかまいません。

● INIT スイッチを使って初期化する

1　本製品の電源が入っている状態で、ゼムクリップなど堅くて先の細いものを使用し、本製品背面のINITスイッチを押し続けてください。

2　Self Test LEDが点滅したらINITスイッチを離します。

Self Test LED が消灯すれば、初期化の完了です。

●設定ユーティリテ ィーを使って初期化する

1　設定ユーティリティーを起動し、「アドバンスド設定」－「システム設定」ボタンをクリックします。

2　「工場出荷時の状態へ戻す」の「実行」ボタンをクリックします。

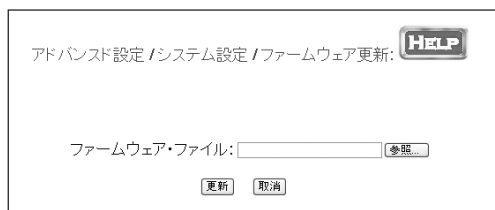
「『工場出荷時の状態に戻す』を実行しますか？」と表示されましたら「OK」ボタンをクリックします。「処理しました」と表示されますので、「完了」をクリックします。続けて「システム・リブート」(P.41)を実行してください。

■最新のファームウェアを入手してアップデートする

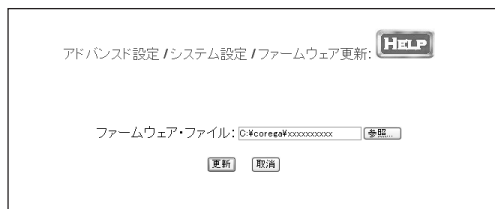
本製品の機能強化のため、予告なくファームウェアのバージョンを更新することがあります。最新のファームウェアはコレガのホームページ（http://www.corega.co.jp/）から入手してください。

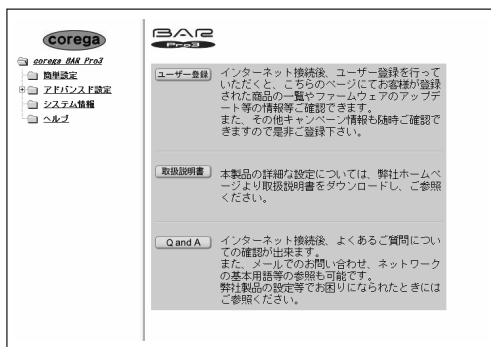
・ファームウェアをアップデートする前に、本製品の設定内容をメモしておいてください。
・ファームウェアをアップデート中は、他の操作を行ったり、本製品の電源を切ったりしないでください。ファームウェアのアップデートに失敗したり、本製品の故障の原因になります。

ここでは例として「C:¥corega」に最新ファームウェアを保存した場合で説明します。

1 設定ユーティリティーを起動し、「アドバンスド設定」－「システム設定」－「ファームウェアの更新」をクリックします。

2 「参照」ボタンをクリックすると、「ファームウェア更新中にブラウザーの操作を行うと更新が中断されます」と表示されます。「OK」をクリックします。

3 「ファイルの選択」画面が表示されますので、ダウンロードした最新のファームウェアを選択し「開く」をクリックします。

4 「ファームウェア･ファイル」欄にファイル名が表示されているのを確認して「更新」をクリックします。

5 「次のダイアログが表示されたら「OK」をクリックします。
全面のStatus LEDが点滅し、ファームウェアの更新が始まります。

6 「ファームウェアの更新が完了するとHome画面が表示されます。

以上で、ファームウェアの更新は終了です。

本製品を使っていて「高度な機能を使いこなしたい」「設定ユーティリティーの詳しい情報が知りたい」と思ったときは、このPARTで項目を探してください。

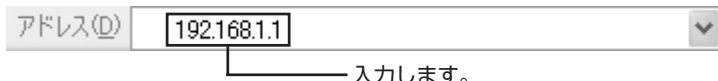
設定ユーティリティーの使い方

パソコンから本製品を使ってインターネットに接続できるように設定ユーティリティを使って本製品の設定を行います。本製品の設定はWebブラウザーで行います。本製品に接続されているパソコンのうち、1台から設定作業を行ってください。WebブラウザーにはInternet Explorer 5.5以降をご利用ください。これ以外のWebブラウザーでは、正常にセットアップが行えない可能性があります。

■設定ユーティリティーの起動／終了のしかた

●設定ユーティリティを起動する

1 本製品に接続したパソコンで、Internet Explorerを起動します。

2 アドレス入力欄に「192.168.1.1」と入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。

3 ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、ユーザー名の欄に「root」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。

・上の画面はWindows XPのものですが、他のOSでも手順は同じです。
・工場出荷時の状態では、ユーザー名は「root」に設定されています。パスワードは設定されていません。
・ユーザー名、パスワードは変更できます。

設定ユーティリティーが起動します。

●設定ユーティリティーを終了する

「ファイル」-「閉じる」をクリックして設定ユーティリティーを終了します。

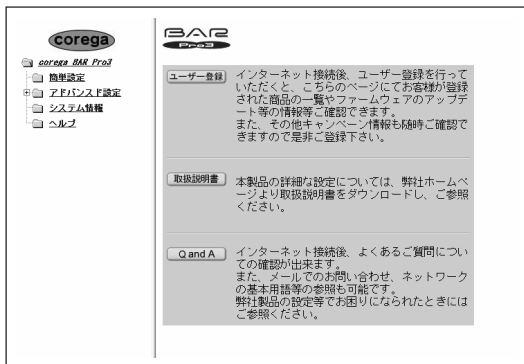
■設定ユーティリティーの全体構成について

- Home…各種設定項目を表示する（P.47）
- 簡単設定…インターネットに接続する（P.47）
- アドバンスド設定
  - システム設定…システム設定を変更する（P.47）
  - LAN側の設定…パソコン（LAN）側の設定をする（P.49）
  - WAN側の設定…インターネット（WAN）側の設定をする（P.49）
  - DMZ設定…DMZ機能の設定をする（P.55）
  - バーチャルサーバー…インターネットにサーバーを公開する（P.56）
  - セキュリティ設定…外部からの不正なアクセスを防ぐ（P.57）
    - ▶ ステートフルインスペクション
    - ▶ VPNパススルー
    - ▶ パケット・フィルタリング
  - DHCP設定…DHCP機能でIPアドレスを割り当てる（P.59）
    - ▶ 固定IP設定
    - ▶ 除外IP設定
    - ▶ BOOT IP設定
  - ルーティング設定…ルーティングテーブルの設定をする（P.60）
    - ▶ スタティックルーティング・テーブル
    - ▶ RIP設定
    - ▶ ダイナミックルーティング・テーブル
  - ダイナミックDNS設定…バーチャルサーバーにURLでアクセスする（P.62）
  - ログ表示…ログ情報を表示する（P.63）
    - ▶ アクセスログ
    - ▶ Dosアタックログ
  - UPnP設定…UPnPを使用する（P.63）
    - ▶ UPnPポート設定情報
- システム情報…現在の設定状況を表示する（P.64）
- ヘルプ…各設定のヘルプを表示する（P.64）

設定画面の各機能

各設定画面には、「ヘルプ」ボタンがあります。設定内容について詳しくは、ヘルプを参照してください。

■Home
〜各種設定項目を表示する〜

設定ユーティリティー起動時の画面です。本製品の機能が表示されます。また、設定ユーティリティーを終了するときは、「ファイル」—「閉じる」をクリックして終了してください。

■簡単設定　〜インターネットに接続する〜

「IP自動取得(DHCP)」と「IP固定」の簡単な設定を行います。詳細な設定を行う場合は、「アドバンスド設定」の「WAN側の設定」(P.49)を参照してください。
設定方法は「PART2　ネットワークに設定しよう」「簡単に接続しよう」(P.29)を参照してください。

■アドバンスド設定　〜より高度な機能を設定する〜

ネットワークアプリケーションを利用する際のポート設定やセキュリティの設定、バーチャルサーバーの設定など、本製品のより高度な機能の設定ができます。

●システム設定　〜システム設定を変更する〜

本製品のログイン名やパスワードといった基本的な設定を変更することができます。また、工場出荷時の設定に戻したり、本製品の再起動などを行うことができます。
変更する場合は変更する項目に入力して「更新」ボタンをクリックしてください。

パスワードを忘れると、設定ユーティリティーで設定を変更できなくなりますので、ご注意ください。

項目名	説明
① 管理者ログイン名	現在のログイン名が表示されます。 ※工場出荷時の設定では「root」。
② 管理者ログイン・パスワード	新しく設定するパスワードを入力します(●または＊で表示されます)。 ※工場出荷時の設定では未設定です。
③ パスワードの確認	確認のため「管理者ログイン・パスワード」で入力したパスワードを再入力します。
④ IP マスカレード・ テーブル保持時間	10～300の間の数値を入力し、IP マスカレード・テーブルの保持時間を設定します。 ※工場出荷時の設定では「10分」。
⑤ URL ホーム	ブラウザーのURLに入力するだけで設定ユーティリティにログインすることができます。必ず「.」を含めて半角で3～24文字以内で設定してください。(「.」は先頭と末尾に使用することはできません) ※工場出荷時の設定は「corega.home」。
⑥ ステルスモード	外部アクセスからルーターの存在をわかりにくくし、セキュリティーを高めることができます。 ※工場出荷時の設定は「無効」。
⑦ ダイレクト PPPoE	「有効」を選択するとルーターを経由しないでパソコンが直接 PPPoE 接続をすることができます。
⑧工場出荷時の状態へ戻す	「実行」ボタンをクリックすると本製品の設定内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。詳しくは「STEP3トラブルや疑問があったら」「本製品を工場出荷時の状態に戻したい」(P.42)を参照してください。
⑨ システム・リブート	「実行」ボタンをクリックすると本製品のシステムを再起動することができます。詳しくは「STEP3 トラブルや疑問があったら」「本製品を再起動したい」(P.41)を参照してください。
⑩ファームウェア更新	クリックすると本製品のファームウェアを最新のバージョンにアップデートすることができます。詳しくは「STEP3 トラブルや疑問があったら」「最新のファームウェアを入手してアップデートする」(P.43)を参照してください。

● LAN 側の設定　～パソコン(LAN)側の設定をする～

1　本製品のローカル（LAN）側の設定を表示します。

項目名	説明
① MAC アドレス	本製品の LAN 側の MAC アドレスが表示されます。
② LAN 側 IP アドレス	LAN 側の IP アドレスを入力します。 ※工場出荷時の設定は「192.168.1.1」。
③ サブネットマスク	LAN 側にサブネットマスクを入力します。 ※工場出荷時の設定は「255.255.255.0」。

2　上記項目を設定後「設定」ボタンをクリックし、「システム･リブート」(P.41)すると設定が反映されます。

● WAN 側の設定　～インターネット（WAN）側の設定をする～

WAN 側の設定を変更することができます。
設定を変更する場合は項目を入力し、「設定」ボタンをクリックしてください。

< IP 自動取得(DHCP)の場合>

1　「WAN側の設定」画面で「IP自動取得（DHCP）」をクリックします。

項目名	説明
① MAC アドレス	本製品の WAN 側の MAC アドレスが表示されます。
② ドメイン名	プロバイダーからドメイン名を指定されている場合、または独自にドメイン名をお持ちの場合に入力してください。指定がない場合は空欄にしてください。 ※半角で 50 文字まで入力可能です。
③コンピューター名	プロバイダーからホスト名を指定されている場合、または独自にドメイン名をお持ちの場合に入力してください。指定がない場合は空欄にしてください。 ※半角で 19 文字まで入力可能です。
④ MTU 値	MTU の値を変更することができます。 ※指定可能値は 576 ～ 1500 です。
⑤ DNS サーバー	プロバイダーから DNS サーバーの IP アドレスを指定された場合は「マニュアル設定」を選択し、指定された IP アドレスを入力します。

2　上記項目を設定後「設定」ボタンをクリックし、「システム･リブート」(P.41)すると設定が反映されます。

＜ IP 固定の場合＞

1　「WAN側の設定」画面で「IP固定」をクリックします。

項目名	説明
① MAC アドレス	本製品の WAN 側の MAC アドレスが表示されます。
② WAN 側 IP アドレス	プロバイダーから指定された IP アドレスを入力します。
③サブネットマスク	プロバイダーから指定されたサブネットマスクのアドレスを入力します。
④デフォルト・ゲートウェイ	プロバイダーから指定されたゲートウェイのアドレスを入力します。
⑤ MTU 値	MTU の値を変更することができます。 ※指定可能値は 576 ～ 1500 です。
⑥ DNS サーバー	プロバイダーから割り当てられた DNS アドレスを入力します。

2　上記項目を設定後「設定」ボタンをクリックし、「システム･リブート」(P.41)すると設定が反映されます。

< PPPoE の場合>

1　「WAN側設定」の画面で「PPPoE」をクリックします。

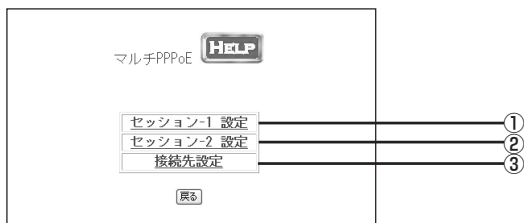
項目名	入力例	説　明
① PPPoE 接続アカウント選択	－	３つのうちいずれかを選択してください。
② MAC アドレス	－	本製品の WAN 側の MAC アドレスが表示されます。
③ユーザー名	myname@isp.ne.jp	プロバイダーより指定された接続ユーザー名を入力します。
④パスワード	Password02	プロバイダーより指定された接続パスワードを入力します。画面上では「●」または、「＊」で表示されます。
⑤パスワードの確認	Password02	④で入力したパスワードと同じ値を入力してください。
⑥接続方法	常時接続	メニューから接続方法を選択します。 ・ 常時接続：常に接続し、切断されても自動的に接続し直します。 ・ トリガー接続：インターネットへ接続するたびに PPPoE 接続します。 ・ 手動接続：手動で接続しない限り PPPoE 接続を行いません。「状態」－「接続」をクリックしてください。
⑦無通信時間監視	10	PPPoE 接続で無通信になってから自動的に PPPoE 接続を切断するまでの時間を設定します。０～ 99 分のあいだで指定してください。 ※⑥で「トリガー接続」「手動接続」を選択した場合のみ選択可能です。 ※０分を設定すると自動では切断しません。
⑧ MTU 値	1454	MTU 値を変更することができます。 ※指定可能値は 576 ～ 1492 です。

項目名	入力例	説　明
⑨ PPPoE サービス・タイプ	Unnumbered IP	メニューから使用するタイプを選択します。 ・ PPPoE：通常のPPPoE 接続で通信を行います。 ・ Unnumberd IP：LAN 内に複数のグローバル IP を割り振るサービスを使用する場合に選択します。 ・ Unnumberd IP+Private：LAN 内に複数のグローバル IP を割り振るサービスを使用する場合、LAN 側にプライベート IP アドレスを同時に使用する場合に選択します。
⑩ルーター IP	−	プロバイダーから指定された IP アドレスを入力します。 ※⑨で 「Unnumberd IP」または「Unnumberd IP+Private」を選択した場合のみ設定可能。
⑪サブネットマスク	−	プロバイダーから指定されたサブネットマスクを入力します。 ※⑨で 「Unnumberd IP」または「Unnumberd IP+Private」を選択した場合のみ設定可能。
⑫ DNS サーバー	12.205.56.98	プロバイダーから DNS サーバーを指定された場合は「マニュアル設定」を選択し、指定された IP アドレス を入力します。

2　上記項目を設定後「設定」ボタンをクリックし、「システム・リブート」(P.41)すると設定が反映されます。

<「マルチ PPPoE」の場合>

1　「アドバンス設定」画面で「マルチPPPoE」をクリックします。

2　設定する項目をクリックし、入力します。

項目名	説明
①セッション 1 −設定	セッション -1 の情報を設定します。
②セッション 2 −設定	セッション -2 の情報を設定します。
③接続先指定	セッション -2 を使用する条件を設定します。

・セッション１、セッション２

項目名	入力例	説　明
① PPPoE 接続アカウント選択	－	３つのうちいずれかを選択してください。
② MAC アドレス	－	本製品の WAN 側の MAC アドレスが表示されます。
③ユーザー名	myname@isp.ne.jp	プロバイダーより指定された接続ユーザー名を入力します。
④パスワード	Password02	プロバイダーより指定された接続パスワードを入力します。画面上では「●」または、「＊」で表示されます。
⑤パスワードの確認	Password02	④で入力したパスワードと同じ値を入力してください。
⑥接続方法	常時接続	メニューから接続方法を選択します。 ・ 常時接続：常に接続し、切断されても自動的に接続し直します。 ・ トリガー接続：インターネットへ接続するたびに PPPoE 接続します。 ・ 手動接続：手動で接続しない限り PPPoE 接続を行いません。「状態」－「接続」をクリックしてください。
⑦無通信時間監視	10	PPPoE 接続で無通信になってから自動的に PPPoE 接続を切断するまでの時間を設定します。０～ 99 分のあいだで指定してください。 ※⑥で「トリガー接続」「手動接続」を選択した場合のみ選択可能です。 ※０分を設定すると自動では切断しません。
⑧ MTU 値		MTU 値を変更することができます。 ※指定可能値は 576 ～ 1492 です。
⑨ DNS サーバー		プロバイダーから DNS サーバーを指定された場合は「マニュアル設定」を選択し、指定された IP アドレスを入力します。

2　上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックし、「システム･リブート」(P.41)すると設定が反映されます。

・接続先指定

1 [追加] ボタンをクリックし各項目に入力します。接続先は10件まで設定できます。

項目名	説明
①ルール選択	ドメイン名：設定したドメイン名への通信はセッション 2 を利用します。IP アドレス：設定した IP アドレスへの通信はセッション 2 を利用します。
②ドメイン名	接続先のドメイン名を入力してください。ルール選択がドメイン名の場合に設定します。
③接続先 IP アドレス	接続先のIPアドレスを入力してください。ルール選択がIPアドレスの場合に設定します。

2 上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックし、「システム・リブート」(P.41)すると設定が反映されます。

＜「ローカル・オフィス」の場合＞

1 「アドバンス設定」画面で「ローカルオフィス」をクリックします。

2 設定する項目をクリックし、入力します。

項目名	入力例	説　明
① MAC アドレス	−	本製品の WAN 側の MAC アドレスが表示されます。
② WAN 側 IP アドレス	12.34.56.78	本製品の WAN 側に値する IP アドレスを入力します。
③サブネットマスク	255.255.255.0	WAN 側に値するサブネットマスクを入力します。
④デフォルト・ゲートウェイ	12.34.56.1	WAN 側の先のゲートウェイ・アドレスを入力します。
⑤ DNS サーバー 1、2	12.34.56.98	プロバイダー(ISP)により指定された DNS サーバーの IP アドレスを入力します。

3　上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックし、「システム･リブート」(P.41)すると設定が反映されます。

● DMZ 設定　～ DMZ 機能を使って IP アドレスを設定する～

設定する場合は「DMZ ホスト」を入力し、「設定」ボタンをクリックします。「システム・リブート」(P.41)をすると設定が反映されます。

項目名	説明
① DMZ ホスト	ネットゲームや RealPlayer などインターネットを使用して全ての TCP/IP サービスを有効とする場合、IP アドレスを入力します。 ※ DMZ を指定したパソコンは、本製品のセキュリティー機能が無効になるため、セキュリティーが弱くなります。DMZ 機能は必要な場合のみ設定してください。

●バーチャルサーバー　～インターネット上にサーバーを公開する～

バーチャルサーバーを利用してインターネット上にサーバーを公開することができます。
設定内容をリストで表示します。

1　メニューから「アドバンスド設定」－「バーチャルサーバー」をクリックします。

2　「有効」を選択して[設定]ボタンをクリックします。「システム･リブート」(P.41)をすると設定が反映されます。

・「**UPnPポート設定情報**」**をクリックすると登録情報を確認することができます。詳しくは「UPnP 設定」（P.60）をご覧ください。**

・ **バーチャルサーバーはセッション1のみ設定できます。**

・バーチャルサーバーの追加

「バーチャルサーバー」の画面の「追加」ボタンをクリックすると「バーチャルサーバー」の設定ができます。バーチャルサーバーは 10 件まで設定できます。

項目名	説明
①バーチャル・サーバー	バーチャル・サーバーの「有効」または「無効」を選択します。
②ローカル IP	LAN 側のサーバー・コンピューターの IP アドレスを入力します。
③プロトコル	リストの中から対象となるプロトコルを選択してください。リストにない場合は、「ユーザー定義」を選択し、④⑤でポートの設定をしてください。
④開始 Port 番号	「プロトコル」で「ユーザー定義」を選択した場合のみ入力してください。
⑤終了 Port 番号	
⑥サービス・タイプ	バーチャルサーバーの対象となる IP タイプをリストから選択します。
⑦備考	入力した設定のメモを入力できます。

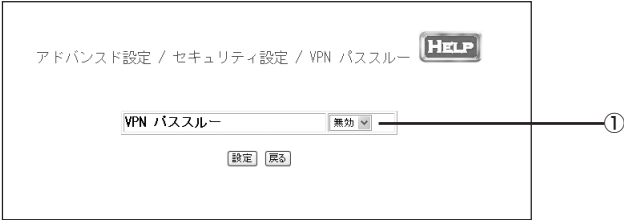
上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックし、「システム･リブート」(P.41)すると設定が反映されます。

●セキュリティ設定　～外部からの不正なアクセスを防ぐ～

・ステートフルインスペクション

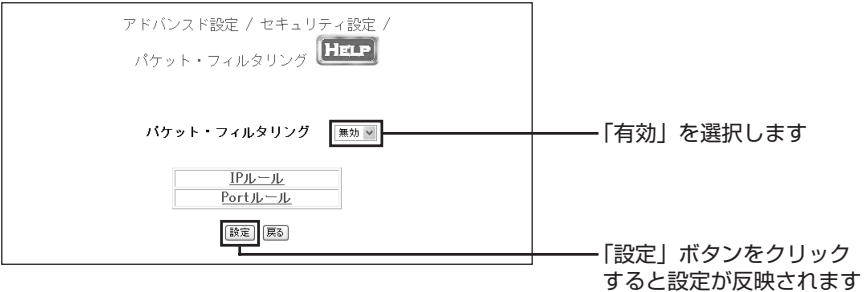
項目名	説明
①ステートフルインスペクション	ステートフルインスペクションの有効 / 無効を選択します。

上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックし、「システム･リブート」(P.41)すると設定が反映されます。

・VPN パススルー

項目名	説明
① VPN パススルー	VPN パススルーの有効 / 無効を選択します。

上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックし、「システム･リブート」(P.41)すると設定が反映されます。

・パケット・フィルタリング

「有効」を選択し、「設定」ボタンをクリックすると入力した「IP アドレス」と「ポート番号」によるパケット・フィルタリングを機能させることができます。

< IP ルール>

1　追加する場合は「IPルール」「追加」ボタンをクリックします。IPルールは15件まで設定できます。

項目名	説明
①開始 IP アドレス	フィルターを適用する開始 IP アドレスを指定します。
②終了 IP アドレス	フィルターを適用する終了 IP アドレスを指定します。

2　上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックし、「システム･リブート」(P.41)すると設定が反映されます。

< Port ルール>

1　追加する場合は「Portルール」「追加」ボタンをクリックします。Portルールは15件まで設定できます。

項目名	説明
①サービス・タイプ	フィルタリングの対象となる IP タイプを指定します。
②プロトコル	フィルタリングの対象となる FTP、HTTP等のプロトコルあるいはアプリケーションをリストの中から選択してください。
③開始 Port 番号	「プロトコル」で「ユーザー定義」を選択した場合のみ、入力してください。
④終了 Port 番号	

2　上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックし、「システム･リブート」(P.41)すると設定が反映されます。

● DHCP 設定　～ DHCP 機能で IP アドレスを割り当てる～

項目名	説明
① DHCP	「有効」を選択すると DHCP 機能を使うことができます。
②開始アドレス	DHCP サーバーのリース開始 IP アドレスを入力します。
③終了アドレス	DHCP サーバーのリース終了 IP アドレスを入力します。

上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックし、「システム･リブート」(P.41)すると設定が反映されます。

・固定 IP テーブル

1　「追加」ボタンをクリックします。固定IPテーブルは10件まで設定できます。

項目名	説明
① IP アドレス	固定するクライアントの IP アドレスを入力します。DHCP 設定した IP アドレスの範囲内で設定してください。
② MAC アドレス	指定した IP アドレスを使うクライアントの MAC アドレスを入力します。
③備考	入力した設定のメモを入力できます。

2　上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックし、「システム･リブート」(P.41)すると設定が反映されます。

・除外 IP テーブル

1　「追加」ボタンをクリックします。除外IPテーブルは10件まで設定できます。

項目名	説明
① IP アドレス	DHCP の割当から除外する IP アドレスを入力します
②備考	入力した設定のメモを入力できます。

2　上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックし、「システム･リブート」(P.41)すると設定が反映されます。

・BOOTP IP テーブル

1　「追加」ボタンをクリックし項目に入力します。BOOTP IPテーブルは10件まで設定できます。

項目名	説明
①IP アドレス	BOOTP プロトコルを使う IP アドレスを入力します
②MAC アドレス	この IP アドレスを使うクライアントの MAC アドレスを入力します
③備考	入力した設定のメモを入力できます。

2　上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックし、「システム･リブート」(P.41)すると設定が反映されます。

●ルーティング設定　～ルーティングテーブルを設定する～

・スタティック・ルーティング・テーブル

1　「追加」ボタンをクリックし項目に入力します。スタティック･ルーティング･テーブルは10件まで設定できます。

項目名	説明
①ネットワーク・アドレス	対象となるネットワークの IP アドレスを入力します。
②サブネットマスク	対象となるネットワークのサブネットマスクを入力します。
③ゲートウェイ	対象となるネットワークへパケットを送るためのゲートウェイもしくは本製品の IP アドレスを入力します。
④インターフェイス	パケットを送るためのインターフェイスを指定します。

2　上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックし、「システム･リブート」(P.41)すると設定が反映されます。

・RIP 設定

項目名	説明
① RIP バージョン	使用する RIP のバージョンを選択してください。
② RIP 送信	RIP を送信する場合は、有効に設定してください。
③ RIP 受信	RIP を受信する場合は、有効に設定してください。

上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックし、「システム･リブート」(P.41)すると設定が反映されます。

・ダイナミック・ルーティング・テーブル

現在の本製品のダイナミック･ルーティングテーブルの状態を表示します。

アドバンスド設定 / ルーティング設定 / ダイナミック・ルーティング・テーブル

接続先	サブネットマスク	ゲートウェイ	メトリック	インターフェイス	タイプ
0.0.0.0	0.0.0.0	10.13.38.32	1	WAN	STATIC
10.13.38.107	255.255.255.0	0.0.0.0	1	WAN	STATIC
192.168.1.0	255.255.255.0	0.0.0.0	1	LAN	LOCAL

更新

●ダイナミック DNS　～バーチャルサーバーに URL でアクセスする～

インターネット上からIPアドレスではなくURLを指定してLAN内のバーチャルサーバーに接続できるようにします。ダイナミックIPアドレスのようなIPアドレスが固定されていないサービスでも、LAN内のバーチャルサーバーにアクセスできるようになります。

ダイナミックDNSは以下の手順で設定します。

1　DDNSサイトでサービスに登録手続きをします。
　登録が完了するとユーザー登録確認メールがE-Mailで送られてきます。

2　Homeから「アドバンスド設定」－「ダイナミックDNS」をクリックます。
　「有効」を選択し、登録したDDNSユーザー名とパスワード、使用したいドメイン名を入力して「設定」ボタンをクリックします。

項目名	説明
①ダイナミックDNS	「有効」を選択して、ダイナミックDNS機能を使えるようにします。
②ログイン名	DDNSサイトで登録されたログイン名を登録します。
③ログイン・パスワード	DDNSサイトで登録されたパスワードを入力します。
④ドメイン名	使用したいドメイン名を入力します。
⑤IPチェック時間	WAN側のIPをチェックする間隔を設定します。間隔は15分、30分、1時間、24時間から選択してください。WAN側のIPアドレスが定期的に変更されない場合は、初期値「1時間」でご使用ください。

3　上記項目を設定後、[設定]ボタンをクリックし、「システム･リブート」(P.41)すると設定が反映されます。

ダイナミックDNSはセッション1のみ設定できます。

●ログ表示　～ログ情報を表示する～

・アクセスログ

本製品のアクセスログを参照することができます。

・Dos アタックログ

本製品の Dos アタックログを参照することができます。

ログ情報はセキュリティーのため公開しておりません。

● UPnP 設定　～ UPnP を設定する～

「有効」を選択し、「設定」ボタンをクリックします。「システム・リブート」(P.41)するとUPnPの機能を使うことができます。

・UPnP ポート設定情報

UPnP の設定が登録情報が表示されます。

アドバンスド設定 / UPnP 設定 / UPnPポート設定情報

クライアントPC	外部ポート	内部ポート	プロトコル	設定

エントリー数: 0

■システム情報　～現在の設定状態を表示する～

現在の本製品の設定状態を表示します。

ハードウェア・バージョン	1.03.00
ファームウェア・バージョン	R1.11 Dec. 12, 2003
システム稼動時間	0 日 1 時間 44 分 58 秒
LAN状態	MACアドレス : XX-XX-XX-XX-XX-XX IPアドレス : 192.168.1.1 サブネットマスク : 255.255.255.0 DHCP : 有効 DHCP開始アドレス : 192.168.1.11 DHCP終了アドレス : 192.168.1.254
WAN状態	MACアドレス : XX-XX-XX-XX-XX-XX WAN 1 : 有効 IPアドレス : 10.13.38.107 サブネットマスク : 255.255.255.0 ゲートウェイ : 10.13.38.32 DNSサーバー1 : 0.0.0.0 DNSサーバー2 : 0.0.0.0 WAN 2 : 無効 IPアドレス : 0.0.0.0 サブネットマスク : 0.0.0.0 ゲートウェイ : 0.0.0.0 DNSサーバー1 : 0.0.0.0 DNSサーバー2 : 0.0.0.0

■ヘルプ　～各設定のヘルプを表示する

表示された項目をクリックすると選択した項目のヘルプ画面が表示されます。
各項目の「ヘルプ」ボタンをクリックしても同じ画面が開きます。

付録

製品仕様

機能			corega BAR Pro3
ネットワークインターフェース	WAN 側	100BASE-TX/10BASE-T	1 ポート（MDI/MDI-X 自動認識）
		サポート規格	IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX Fast Ethernet）IEEE802.3x（Flow Control）
	LAN 側	100BASE-TX/10BASE-T	4 ポート（全ポート MDI/MDI-X 自動認識）
		サポート規格	IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX Fast Ethernet）、IEEE802.3x（Flow control）
		アクセス制御方式	CSMA/CD
		データ伝送方式	10Mbps/100Mbps
		フォワーディング方式	ストア＆フォワード方式
		バッファ容量	64Kbyte
ハードウェア構成	本体仕様	適用規格	EMI 規格 VCCI クラス B
		定格入力電圧	DC5V
		最大消費電流	800mA
		最大消費電力	4W
	本体使用環境条件	保管時温度差	－10～60℃
		保管時湿度	95%以下（ただし結露なきこと）
		動作時温度	0～40℃
		動作時湿度	5～90%以下（ただし結露なきこと）
	本体外形寸法		177mm（W）× 103mm（D）× 34mm（H）
	本体重量（AC アダプタ含まず）		266g（本体のみ）
ACアダプター	定格入力		100V（50/60Hz）
	定格出力		DC5V
基本機能	ルーティング方式		スタティック /RIP/ ダイナミックルーティング
	ルーティング対象プロトコル		IP
	設定方式		Web ブラウザー
	初期化方式		INIT スイッチ /Web ブラウザー
	対応プロトコル		TCP/IP
	対応 OS		Windows95/98/Me/2000/XP、Mac,Linux

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI ）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

MAC アドレスについて

ご契約されているプロバイダーやインターネットサービスによっては、インターネットに接続できる機器を事前に申請する必要があります。その場合、CATV/ADSL モデムに直接接続するネットワーク機器（本製品も含むパソコンなど）のMAC アドレスをプロバイダーに対して事前申請してください。
本製品のWAN 側のMAC アドレスは本体背面に記入されています。「PART1 まず準備が必要」「各部の名称と機能を覚えよう」「本体底面」（P.12）を参照して確認してください。

推奨ブラウザについて

OS	推奨ブラウザ
Windows XP	Microsoft Internet Explorer 6.0 SP1 以降
Windows 2000	Microsoft Internet Explorer 6.0 SP1 以降
Windows Me	Microsoft Internet Explorer 5.5
Windows 98	Microsoft Internet Explorer 5.5

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・本製品の仕様またはそのご使用により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

2003 年 8 月 Rev.A　初版
2004 年 4 月 Rev.D 第四版

保証と修理について

■保証について

別紙の「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。本製品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず本書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページに掲載されている「修理依頼書」をプリントアウトの上必要事項を記入されたものか、「製品に関するご質問」にある必要事項を記入されたものを、製品保証書および購入日の証明できるもののコピー（レシート等可）を添付し、製品（付属品一式と共に）をご購入された販売店へお持ちください。修理をご依頼する際は、以下の点にご注意ください。

※製品のお持込による修理は受け付けておりません。

・修理期間中の代替機等は弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
・保証書に販売店の捺印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
・製品購入日の証明ができない場合は、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入の販売店へお持ちください。下記のホームページに有償修理価格が記載されておりますので、ご覧ください。

http://www.corega.co.jp/repair/

■製品に関するご質問は･･･

製品に関するご質問は、弊社ホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または、下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、コレガサポートセンターまでメール、FAX、電話のいずれかでお問い合わせください。

※製品のお持込によるサポートは受け付けておりません。

※ FAX で詳細な情報を送付いただくと、より早く問題を解決することができます。

■お問い合わせ先

Mail サポート　: 下記の URL からユーザー登録した後、お問い合わせください。

http://www.corega.co.jp/faq

FAX/TEL　: FAX 045-476-6294　TEL 03-3797-1085
受付時間　: 10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 18:00　月～金（祝・祭日を除く）
必要事項　: ご質問の前に、あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

・製品名
・シリアル番号　(S/N)、リビジョンコード (Rev.)
・お名前、フリガナ
・連絡先電話番号、FAX 番号
・購入店
・購入日付
・お使いのパソコンの機種
・OS
・お問い合わせ内容 (できる限り詳しくお知らせください)
・ネットワーク構成